

コロナ禍の終息せぬ今、いかがお過ごしでしょうか。支部総会、陵水亭懇話会、学生交流会などの支部行事を2年間本来の形で開催できず、皆様には申し訳なく思っております。支部役員の打ち合わせは、多くの会社と同様にオンライン会議となりました。夕食後の空き時間に、費用をかけずに開催できることから、会議の回数は以前より格段に増えました。中でも広報部会では毎月会議を行い、ホームページ及びメルマガの充実に努めました。ホームページは随時更新、メルマガは年6回超送信していますので、年1回の会報送付にはない、素早い情報提供ができていますと自



片岡嘉幸氏 (大25)

支部長あいさつ

負しております。メルマガ会員数は現在約600名です。多くの皆様の会員登録をお待ちしております。

来る6月の支部総会は、本来の姿に近い形で実施したいと考えております。名古屋支部では、伝統的に総会幹事年度の人に支部総会の運営をお願いしております。今年の総会幹事は大学34回の皆さんで、コロナ禍の運営に知恵を絞っていただいている所です。総会幹事の皆さんの年齢は58才くらいで、サラリーマンですと定年が近づき、老後の有り方を考え、交友関係を会社以外に求める時期と思われます。大学時代には交じわりのなかった関係でも、総会をどのように盛り上げるかを議論することによって親しくなっていくようです。総会幹事が毎年変わるこの伝統は、支部に新しい考え方が加わ

る良い制度だと思っています。

支部総会に次ぐ重要な会議が、毎年3月に行われる年度幹事会です。会計報告や総会行事及び支部役員の承認など、総会に上程すべき事項を事前に話し合う場です。各年度から最低1名以上年度幹事になっていただき、会議に出席いただいております。年度幹事が空席の年がありますので、自薦または他薦をよろしくお願いいたします。年度幹事の中で、支部活動をもっと積極的にやりたい人には、支部役員になっていただいております。今年から大学66回の方に支部役員になっていただく予定で、以前と比べて平均年齢が下がってきました。

さる2月に陵水会本部の中の組織として「NextRyosui」が立ち上がりました。現在は東京支部所属ですが、名古屋出身の大学37回の服部進さんが中心となり、ITを駆使した、学生会員や若手会員が、先輩会員とコミュニケーションを取りやすい仕組み作りを進めております。最初の成果物は、今年の卒業生向けの7分間のDVDで、さる3月25日の卒業式で上映されました。今後の活動の詳細を随時ご案内

してまいりますので、皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

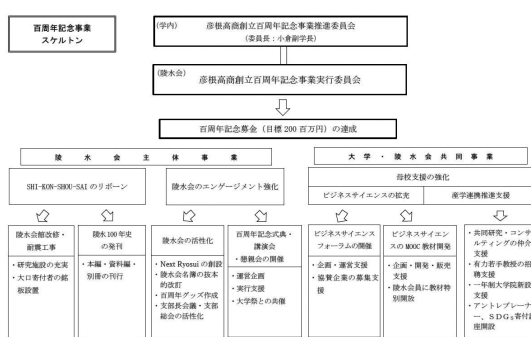
陵水会が来年100周年を迎えるに際して、100年史の編纂や記念募金のお願いに努めてまいりましたが、この4月に大学の中で「彦根高商100周年推進委員会」が発足され、今後は大学と一体となって100周年事業を推進することになりました。記念式典は大学祭と同時期の2023年11月4日(土)です。当日は名古屋からバスをチャーターするなどして、式典を盛り上げたいと考えております。



「陵水百周年記念事業」について



「NextRyosui」



海老せんべい製造卸・小売・各国産乾海苔問屋

株式会社
ヤマ伍三矢商店

代表取締役 三矢 誠 (大25回)

〒444-0426
愛知県西尾市一色町治明大戸前10
TEL (0563)72-8117
FAX (0563)72-3322
E-mail yamago@katch.ne.jp
https://www.yamago328.com/

公認会計士 山内佳紀事務所

公認会計士・税理士 山内 佳紀 (大23回営)

〒466-0807 名古屋市中昭和区山花町94-4
TEL 052-761-1386 FAX 052-761-1869
E-mail:info@cpa-yamauchi.com

2021年度 陵水会名古屋支部総会開催

2021年9月19日(日)

2021年の名古屋支部総会は、9月19日(日) 13時半より開催されました。会場のホテルブラ王山2F「葵の間」には、23名が集いました。新型コロナウイルス感染症対策として、今年は規模を縮小して開催。参加者は支部役員と当番幹事のみ、遠方からの来賓ご臨席や講演会、懇親会は中止されました。

さて、総合司会が開会宣言したのち、片岡嘉幸氏(大25)から支部長挨拶(後述)があり、幹事長の塚本浩三氏(大30)に司会がバトンタッチされ、議事が始まりました。第1号議案に



ついて、「令和2年度収支報告書(案)」が会計幹事の表野宏和氏(大29)より、監査報告を監事の山内佳紀氏(大23)より報告され、承認されました。第2号議案「陵水会名古屋支部事務所変更」は、幹事長からの説明を経て承認されました。※参加表明いただいたものの出席をご遠慮願った会員の皆様には、書面審査にてご意見を伺いました。

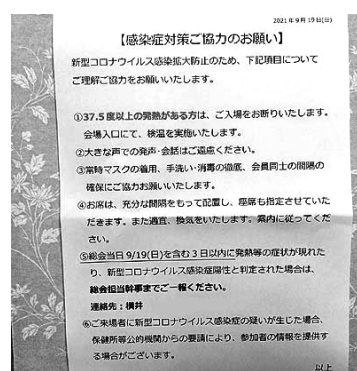


報告事項では「令和3年度収支予算案報告(案)」が会計幹事より発表され、「令和2年度支部活動報告」について幹事長より説明がありました。その後、総合司会より「来年度幹事紹介」があり、33回生から34回生へ引継ぎのグータッチを経て、次期幹事代表の丹羽宏和氏(大34)から来年への抱負が発表されました。最後に閉会のことが発表されて、解散となりました。



※「来年度幹事紹介」は、例年であれば懇親会最後のセレモニーですが、今年は懇親会を開催しないためこのタイムミングとなりました。

検温を実施し、換気にも留意して密にならず大きな声で会話しない、常時マスクの着用。発言が終わるたびにマイクや机を消毒。座席は予め指定、その座



総合司会は、長谷川裕一氏(大33)でした。33回生の皆さん、二年間お疲れ様でした。

来年2022年度名古屋支部総会開催予定は、次の通りです。

【日時】2022年6月25日(土)

【会場】HOTEL ブラ王山

【講演講師】村上雅洋氏(大30・日清紡ホールディングス(株)代表取締役社長)

(以上予定)

それまでは、名古屋支部のホームページや陵水会のフェイスペインクをご覧ください。

会社経営から相続等までお気軽にご相談ください。

税理士法人 表野会計

代表社員 表野 宏和 (大29回)

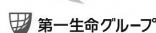
〒467-0043 名古屋市瑞穂区岳見町1丁目13番地
TEL: 052-832-2049 FAX: 052-834-1797
E-mail: hyonok@luck.ocn.ne.jp

生命保険・損害保険41社を取り扱う代理店です。
保険の相談、遠方でも対応します。



株式会社 アルファコンサルティング

代表取締役 牧野 博和 (大学28回生)



〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-20-25
メットライフ名古屋丸の内ビル9F
TEL (052) 223-2011 FAX (052) 223-2013
E-mail info@alpha-consult.com https://alpha-consult.com

【支部長挨拶（支部総会）】

陵水会名古屋支部長の大学25回の片岡です。本日は、大変お忙しいところ、また緊急事態宣言の続くなか、ご出席いただきありがとうございます。

大学33回の皆さんには、2年間の長きにわたり総会開催にご尽力いただきありがとうございます。規模は縮小ながら開催出来ましたこと、心より御礼申し上げます。同期と総会を運営するという名古屋支部の伝統を経験してほしかったので、3ヶ月遅らせてみましたが、予想に反しかえって緊急事態宣言が出される事態となり、申し訳なく思います。来年6月の総会は、なんとか通常開催をしたいと考えますので、大学34回の皆さん



よろしく願います。

さて、陵水会は2年後に100周年を迎えます。過去80周年、90周年と周年事業が開催されましたが、今度は100周年です。一生に一度しかない100周年ですので、この盛大な事業を行い、事業を通じて、会員相互の交流がより深まり、大学との一体感が生まれるようにしたいものです。そしてこの事業がこれで終わるのではなく、次の100年に向けてのスタートになるようにしたいものです。幸い、大学には全国に先駆けてデータサイエンス学部が誕生しております。この日本一先進的な大学を支える、日本一すばらしい同窓会組織を目指したいものです。みなさんのご支援よろしく願います。

緊急事態宣言後の

キャンパスの様子



彦根駅に降り立つと、「金2冠 大橋悠依選手」の横断幕が目に入る。

「東京2020オリンピック・パラリンピック」が終わった2021年9月現在、東海3県や滋賀県などの複数の地域に「緊急事態宣言」が発令されている。平時なら、地元出身選手の偉業にわいたであろう彦根は、静まりかえっている。「臨時休業」を掲げた店舗が目立つ。観光客の姿はほとんど見えない。これから彦根はどうなってしまうのだろうか。

滋賀県に「緊急事態宣言」が発令されたのは2度目。約1年

4カ月ぶりである。2020年4月、初めての「緊急事態宣言」下では大学構内への立ち入りが禁止された。2度目となる今回は、入構を規制していない。発令後もしばらくの間は、感染対策を講じた上でのクラブ・サークル活動が認められていた。キャンパスには普段の長期休暇中と変わらずに、学生の姿がちらほら見られた。

しかし、9月10日頃、どちらのキャンパスかはわからないものの、クラブ活動をとおして、学生の間で感染の広がりが確認された。クラブ・サークル活動は、当面の間、禁止になった。キャンパスで学生の姿はほとんどみられなくなった。

世界中で始まったワクチン接種。8月・9月に彦根キャンパスの講堂がその接種会場になった。対象者は滋賀大学の学生と教職員だけでなく、彦根市の企業や教育機関の関係者も。多くの希望者が講堂に足を運んでいた。2023年、経済学部と陵水



エレクトロニクスの

ミズショー株式会社



本社：〒466-0058
名古屋市中区白金1丁目4番20号
TEL: (052) 872-6455

拠点：愛知県刈谷市(事業所)
中国浙江省、広東省
タイ国 サムットサコーン県

URL: <http://www.mizusho.co.jp/>

代表取締役社長 橋本 衛(大31回)
総務部 次長 高橋和孝(大44回)

外装タイル、外装モザイクタイル製造

東濃窯業株式会社

代表取締役 安藤 久(大学31回)

【本社】 岐阜県土岐市下石町304番地
TEL 0572-57-8111 FAX 0572-57-8115

【山神工場】 岐阜県土岐市下石町2308-1
TEL 0572-57-4500 FAX 0572-57-5033

【石拾出荷センター】 岐阜県土岐市下石町304番地
TEL 0572-57-8281 FAX 0572-57-2889

<http://www.to-no.co.jp/>

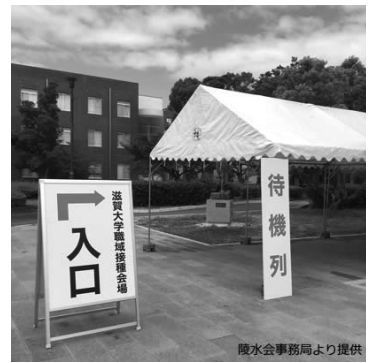
会は100周年を迎える。きっと、100周年を祝う式典が開催されるだろう。祝いの場で「東京2020」の時はどうなるこ



陵水会事務局より提供



陵水会事務局より提供



陵水会事務局より提供

とかと思ったけれど…と多くの陵水会員と、彦根で、話をする事ができるのだろうか。100周年まで、まだ2年。いや、あと2年しかない。100周年が迫っている。

【今井綾乃（大58・院41）】

2021年滋大祭

「緊急事態宣言の解除とともに」キャンパスの木々が色づき始めた2021年10月30・31日。滋賀大学彦根キャンパスで、あるイベントが行われた。それは滋大祭である。

昨年の学園祭はコロナ禍のため、「滋賀大学学生交流会」へと形を変えた。しかし、今年の学園祭は「滋大祭2021」へと名が戻され、多くの企画が催された。例えば、各団体によるステージ披露、教室展示、抽選会のほか、昨年はなかった芸人によるお笑いライブも開催された。また、ミスターコン・ミスコンも復活。さらに、新しい試みとしてeSports大会も行われた。

陵水会は、今年もブースを出展した。陵水会本部の若手交流委員会と100年史編纂委員会

が共同し、大学や彦根の今昔写真を展示した。今昔写真は、名古屋支部・京都支部の皆さんにお手伝いいただきながら両委員会が用意したものである。感染対策のため、事前の展示準備は陵水会事務局に行っていた。当日のブースは入江先生（大32・陵水会理事・滋賀大学特任准教授）に運営していただいた。

来場者を学内生に限定したものの、滋大祭は盛大に行われた。その前日には、体育会による第48回榎本杯争奪駅伝も開催された。

普段のキャンパスでは、多くの対面授業が行われるようになっていた。ゼミ活動に取り組むグループも見られる。部活動も再開した。キャンパスには学生が戻ってきている。彦根城下に目を向けると、複数の大型バスが行き交い、ツアー客や修学旅行生が彦根城へと向かっている。臨時休業していた居酒屋も再開した。1カ月前に緊急事態宣言が発令されていたとは思えないほど、彦根は平時に戻りつつある。

来年こそは、皆さんのご来場が叶いますように。紅葉が彩る彦根で、お待ちしております。

【今井綾乃（大58・院41）】

彦根、大雪

「積雪73センチ」

大雪が彦根を襲った。高速道路と国道は通行止め。JR在来線も近江鉄道も動いていない。一般道のあちらこちらで車が立ち往生。コンビニやスーパーには食料がない。彦根は陸の孤島と化した。

災害級の雪が降る2日前。2021年12月24日（金）、院生である私は、愛知から彦根へ向かった。雲の多い天気のため、大学に到着すると、知り合いの職員さんが校舎棟の入口前で雪かきスコップを用意していた。スマホで天気予報をみると、今夜から滋賀北部は数日、雪予報。「今からもう、雪かきの準備でいいか？」と声をかけると、「土日に雪が降るみたいだからね。」



URL: <http://www.jskk.com>

重機商工株式会社
JUKI SHOKO Co., Ltd.

●創業61年

●コマツ建機販売修理
リースレンタル

●国内各メーカー
ソーラー発電施工実績
1000件以上

代表取締役社長
Masao
城所 真男 (33回卒)

〒464-0850
名古屋市千種区今池5丁目34番17号
TEL.052-741-1211 FAX.052-733-1238
E-mail: mkidokoro@jskk.org
携帯: 090-2618-8438
E-mail: mkidokoro1963@gmail.com



喫茶 ベル

鈴木 俊彦 (大33回)

名古屋市港区秋葉1-120
(国道302号南陽農協前交差点角)
TEL 052-301-5437



週明け、校舎内に入れないといけないから、外に置いておくんだよ」との返事。それを聞いた私は呑気にも、雪かきが必要なのかと積もるかなと疑った。今になって思えば、恥づかしい。だが、その職員さんも、まさか大学にたどり着くことができないほどの雪が積もるとは、予想していなかったはずだ。

26日の明け方には雪が本格的に降り始めた。一晩中降り続き、27日には平年の約36倍となる73センチの積雪を観測。12月として過去最深という。その日、愛知で見た全国ニュースで、混乱している彦根の様子がとりあげられていた。国道でトラックが立ち往生している。その周囲で渋滞が続いている。今にも折れそうな横向き信号機。その信号機の上に積もった雪を、警察官が棒で落とそうとしている。歩

道を歩かず、車道を歩く人々。すべて、私の見知った場所だ。

後日、彦根に住む別の職員さんに話を聞いた。積もった雪をどかせばなんとかなると思っていた。でも、どかす場所がなかった。あたり一面が積もっているから。屋根にも70センチの雪が積もっている。その雪が下に落ちてくる。だから、70センチって言うけど、それ以上の高さがある雪の壁だった、と。

冬休みに入っていたため、授業にはほとんど影響がなかったようである。JR在来線は2日間ほど運転を見合わせた。帰省の予定がずれた学生はいたかもしれない。旧城下町には除雪車が入れず、住民が雪かきに追われたそう。報道によると、転倒などで30人が怪我をしたほか住宅被害134件、農業用ハウス8棟の全半壊。

改めて思う。彦根は雪国。今年ほどではないものの、1年に数回は雪が降る。そして、積もる。雪をかぶった彦根城に見惚れる。授業時間が始まって、友達と雪で戯れる。凍った道路の怖さを知らないがために自転車に乗り滑ってこける。彦根でこんな経験をしたのは私だけ



はないはず。

＝写真について＝

※2021年12月26日～31日に撮影。八木謙樹氏（経院47）と滋賀大学職員より入手（撮影者の掲載承諾済み）。

図 今井綾乃（大58・院41）

「滋賀大学陵水100年史」編纂経過

※この記事は、2021年10月に作成されました。

「滋賀大学陵水100年史」発刊に向けた寄稿募集が、今年9月末日に終了しました。ご寄稿いただいた方々には、心より深く感謝いたします。

寄稿文は、最年長の方が本科15（昭和15年）、最年少の方が大65（平成29年）、その間の幅広い年代の方々から、学生出陣や食糧配給制度、ゼミ、クラブ・同好会、寮・下宿生活、恩師、

授業、想い出の店、アルバイト、旅行、遊び等、多岐にわたる内容のものが届いており、それぞれを拝見すると、飾らない言葉で、当時の想い出を愛着深く表現されている方が多いように見受けられます。

「……夜遅くまで議論に花を咲かせ、腹が減ると近くの焼き肉店（○○）へ出かけ、銀シャリとホルモン焼に焼酎で栄養を付けた。腸に染み渡るひと時だった。……」

「……当時の寮は木造で老朽化が甚だしく……冬は電気ストーブの使用が禁止されており、豆炭コタツだった。……学



生が灯すスタンドの電気です。レーカーがよく落ちたものである。……」

「……懐かしき我が下宿。入居当初は多くの失敗をした。……電熱器でお湯を沸かしているのを忘れ、友人の所に遊びに行き……火事になる寸前だった。……」

「体育会○○○○部。……酒席での出来事は思い出深い。……当時後三条町の割烹（○○）をコンパの主戦場としていた。……新歓コンパで洗礼を受ける。……興が進むといつの間にか座布団が撤収され、……ビニールシートが敷かれる光景に、これが大学のコンパというものかと、……妙に感動した。……」

ごく一部の内容を紹介しましたが、青春時代の懐かしい記憶が、我がことのように思い返されます。

※このページに使用の写真は全て、滋賀大学経済経営研究所所蔵の『LAMEMORA1933』（彦根高商本科8回卒業アルバム）より抜粋

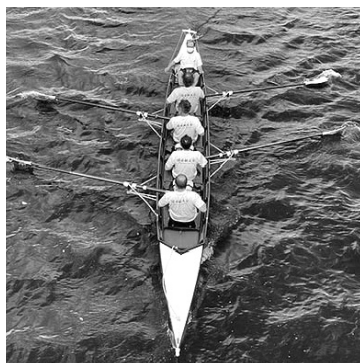
図林 健一（大25・滋賀大学陵水100年史編纂委員）

陵水艇友会中部支部活動2021

滋賀大学時代に漕艇部で青春時代を過ごしたOB、OGを母体とする陵水艇友会中部支部では、その活動の一環として毎年一般のボートレースにも参加しております。

今年度も、10月10日の東郷町・愛知池で開催された『マスターズレガッタ』、及び10月17日に開催された『名古屋レガッタ』へ参加いたしました。結果は、マスターズレガッタは参加クラス（シニアクラスⅡ平均年齢60〜64歳の部）において、コロナ禍ということで他のクルーが参加を見合わせたため一艇のみの参加、タイムレースとなりました。

名古屋レガッタにおいては、参加クラス（シニアクラスⅡ平均年齢50〜60歳）には4艇が参



加、大接戦の末、3位に食い込むことができました。他のクルーが経験者かつ50才そこそこのメンバーをそろえる中、こちらはクルー4名のうち3名が60才前後というクルーでしたので大健闘と思います。

岸自身もコックス（舵手Ⅱ舵取り）として参加しておりますが、現役時代のような55kgのスリムな体形と勝負勘、勝負への拘り、漕ぎ手への叱咤激励さえあれば、このレースも勝ったと思っております。勝負には負けましたが、現役時代には決して味わえなかったボートの楽しさ、すばらしさを改めて感じる事ができたと思っております。

最近の我が漕艇部の活躍としては、10月末に行われたインカレで、女子ペア（二人乗りボート）で愛知県出身の二人が決勝



進出、3位に入賞することができました。漕艇部にとっても久々快挙であり、朗報でありました。こういった現役の活動も励みに、これからも現役へのサポートも行いつつ、我々陵水艇友会メンバー自身もボートを楽しんでいきたいと思っています。

※感染対策を実施して大会参加しています。

名古屋大学ゴルフクラブ

2021年11月6日プラタナス会の懇親ゴルフコンペが彦根カントリー倶楽部で開催されました。

この会は、ソフトテニス部OB会の有志が年1回彦根カントリーに集い、名阪対抗の団体戦と個人戦を通じて親睦を深めることを目的とし、今回で35回目の開催となります。

昭和38年卒（大11回）から平成7年卒（大43回）まで19名のOBが、東は愛知県、西は島根県から参加、名古屋支部からも7名が参加しました。コロナ禍のため、今回はハーフコンペ方式で個人戦のみでの開催となり、プレー後のパーティも実施

できませんでしたが、2020年は中止となったため、2年ぶりに懐かしい面々と再会することができ、天候にも恵まれ、楽しいひと時を過ごすことができました。

幹事の陣内さん（大31）に感謝し、次回2022年11月12日に皆様と再会できることを楽しみにしています。

※感染対策を実施して開催しています。

※感染対策を実施して開催しています。

フィギュアスケートのブレッド開発

運動的に始めた

1月中旬からTV各局と複数の新聞社から取材の問い合わせが相次いだ。当社の開発したフィギュアスケートのブレッドに関する取材である。

2012年、小塚崇彦元選手が別件で来社の際に持参していたシューズを一見して驚いた。ブレッドは錆びており、靴底の金属部は「へ」の字に変形し、本来靴底と垂直にあるべきブレッドが外側に曲がっている。聞くところによると、アマチュアがレンタルするシューズと同じ品質だという。形状、溶接状



お仏壇・墓石の
永田竹佛壇店

取締役副社長 永田祐士（大38回営）

〒444-0858 愛知県岡崎市上六名3-13-12

TEL: 0564-54-2898

URL: <http://www.nagataya.co.jp>



公認宅地建物取引業

有限会社 **クリエイト 鳩** / きゅう

—不動産売買・賃貸・管理・リフォーム—

営業部長
宅地建物取引士
空き家マイスター

中川雄志（大50回）

〒445-0876 愛知県西尾市住崎町雁淵15-2

TEL 0563 55-0200

FAX 0563 55-0230

携帯 090-5972-4292

E-mail info@create-q.com

<https://www.create-q.com>

材質の選定、硬さ・靱性の条件出し、加工法案の検討等を繰り返して、2018年に初の日本製、溶接部のない一体成形ブレードが完成した。とは言え、名もない会社の製品が市場に浸透するには時間を要したが、「折れない・曲がらない・刃持ちが良い」という評判は徐々に拡がり、宇野選手、木原・三浦

態もばらつきが多く、練習中はもちろん競技中に破損し怪我のリスクも高く、宇野昌磨選手は3週間毎に道具を交換しているとのこと。演技内容が進化する中、高度な技術が要求される近代フィギュアではなおさらである。一世紀近く特殊鋼事業に携わるものとして問題は一目瞭然！「うちならもっと良いものができるのに」と思わずひとこと発したのが開発のきっかけとなった。



林健一氏（大25）が岡崎美術展入選

退職後の「ぶらぶら、虫の散歩」

ペアによって披露され、見事に表彰台に上った！10年の努力が報われた瞬間である。因みに、宇野選手は昨年7月から一度もブレードを交換していない。各方面からの問い合わせも増え、安心・安全な一般向けブレード開発も始まった。ブレード開発を通じて社内モチベーションも高まり、3Dプリンターを用いたAM（Additive Manufacturing）事業や、大きな省エネ効果でSDGsに貢献するSWCNT（カーボンナノチューブ）を用いた表面処理技術の開発等、独自技術にこだわった他社に真似のできないスタートアップ事業が開花こうとしている。

岡寺西基治（大31）

林健一氏（大25）が岡崎美術展入選

林健一さん（大25）が、定年退職後に楽しまれている趣味の写真で、第74回岡崎美術展（2021年10月）の写真部門に入選されました。

私が林さんと出会ったきっかけは、「滋賀大学陵水100年史」編集委員会でのこと。共に編集委員として、現在、会員の皆様からいただいた寄稿やアンケートをもとに100年史を編集しています。寄稿やアンケートのご回答を、ありがとうございます。

さて、林さんはこれまでも、名古屋支部や陵水会本部で様々な活動をされてきました。例えば、2015年8月に行われた第5回陵水亭懇話会。林さんはその講師を務められました。演



美術展の様子

題は「彦根城マニアック探検ツアー…ファイトモード満々の近世城郭の見所を満喫しよう」。

城好きの私。参加できなかったことを悔やんでいます。また、2019年発行『陵水会年報』の表紙を飾った写真。これは林さんが撮影した写真です。講堂と彦根城を1枚の写真に収めることができるんだ！と驚きました。

入選写真、また、写真撮影についてインタビューをさせていただきますました（2021年11月に実施）。ここに、その内容を紹介いたします。

今井「岡崎美術展写真部門への入選、おめでとうございます。」

林「ありがとうございます。」
今井「入選作品はオオスカシバの吸蜜という蛾の写真でしたね。」

林「はい。趣味のひとつが写真で、最近は虫ばかり撮っています。」

今井「例えばどんな虫ですか？」
林「我が家のマンシヨンにどんな蛾がやって来るのか、昨年一年間かけてほぼ毎日、蛾の写真を撮りました。また、近所を散歩しながら、「ぶらぶら、虫の散歩撮り」

日本のものづくりを支える特殊鋼のファクトリーモール

山一ハガネ

株式会社 山一ハガネ
代表取締役 寺西基治（大31回済）

フィギュアスケートの宇野昌磨選手、三浦璃来・木原龍一ペアの活躍を足元から支えたスケートブレードを製造。金属加工のみならず、素材の開発から設計・製造・仕上げまで網羅した3Dプリンターを用いたAM事業、カーボンナノチューブを用いた省エネでSDGsに貢献する表面処理など、幅広い高度な技術で次代の産業基盤を担います。



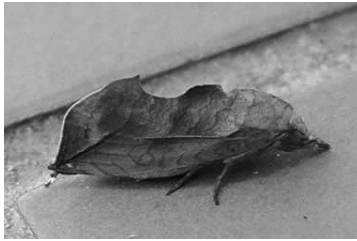
〒459-8007 名古屋市緑区大根山二丁目146番地

TEL (052)624-2555

FAX (052)624-2566

地域未来牽引企業

【蛾の仲間】



アカエグリバ



ムクツマキシチャホコ



オオケンモン



ウスギヌカギバ

をしています。

蛾は、季節によって種類が違って、たぶん400〜500種類ぐらい撮りました。それぞれの形や色あい、模様などが、俺は枯葉で蛾ではないぞ！俺は木片で蛾ではないぞ！俺は鳥の糞で蛾ではないし不味いぞ！俺は木の幹の樹皮に紛れて蛾には見えないぞ！などと、鳥などに捕食されない工夫があります。

「ぶらぶら、虫の散歩撮り」は、道沿いの草むらや木立の中等にいる虫を手当たり次第に撮っています。大小さまざまな種類の虫達に遭遇します。蝶、トンボ、クワガタやカブトムシを含めたコガネムシ上科、ハムシ、カミキリムシ、オトシブミやチョッキリを含めたゾウムシ上科、バッタ類、カメムシ、アブやハ

チの仲間他、多種多彩です。

わざわざ遠くに出かけなくても、ごく身近なところにとってもたくさん種類の虫達がいて、面白いです。一般的には虫は嫌われているので、関心の無い方がほとんどだと思いますが。」

今井「特に好きな虫はありますか？」

林「好きというより、どの虫もとても興味深いです。」

蝶や蛾の蛹のメカニズムやどうしてこんな形なの？といったことを考えると、とても不思議で思わず童心に帰ってしまいます。今年8月に、我が家のマンションの壁にタマムシが止まっているのを見て、思わず感動してしまいました。岡崎市の市街地で見たとこと約50年ぶりに出会えたことで、大はしゃぎしてしまいました。」

今井「定年退職後も写真を楽しんでおられるご様子がよく分かりました。最後に、林さんが生活信条とされていることがあれば教えてください。」

林「明るく積極的で、楽しく、前を向いて生活をしたいと考えております。人生は筋書きのないドラマであり、世の中は面白い事や物で満ち溢れていると常に思っております。」

今井「ありがとうございます。また。」

※展示会、昆虫の写真は林さんの撮影による

図 今井綾乃（大58・院41）

※ホームページでは、他の昆虫の写真もご覧いただけます。

「第43回水郷話会」開催

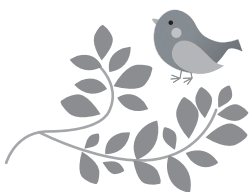
令和4年2月11日（金）13時より、滋賀大学経済学部およびデータサイエンス学部の3回生を対象にした就職支援のイベントが開催されました。名古屋支部からは、トヨタファイナンス株式会社（2006年卒・経済）および、同社の鈴木（2021年卒・DS）の2名が、OBとして参加しました。当初は大学にて対面で実施予定でしたが、コロナ拡大により直前になってZoomを使ったオンライン形式に変更されました。

トヨタファイナンス以外の参加企業は、滋賀銀行・東京会場日動火災保険・内田洋行ITソリューション・テイジエール・住友電気工業・日本電産マシンツール・関西電力でした。小野善生彦根地区就職支援委員長・中野桂経済学部長・竹村彰通データサイエンス学部長・山田督陵水会理事長に挨拶をいただいた後は、ブレイクアウトセッションで3回入替、最後に彦根地区就職支援委員入江直樹特命教授から挨拶をいただき終了しました。



オンライン形式となったことで、盛り上がりには欠ける部分はあったものの、学生の皆さんは、質問を事前につっかり準備され、OBは大学の先輩だからこそ伝えられる生々しい社会人の実態を語る場面もあり、大変有意義な内容となりました。

図 土屋貴巨（大54）



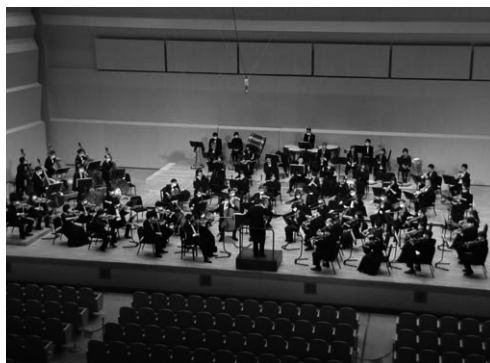
陵水フィルハーモニー管弦楽団

「第10回演奏会」

2022年1月23日（日）。

陵水フィルハーモニー管弦楽団の第10回演奏会が無事終了しました。ひこね市文化プラザグラインドホールにご来場くださった皆様、本当にありがとうございました。エニグマ変奏曲（エルガー）、交響曲第4番（チャイコフスキー）という2曲は難曲でしたが、220名のお客様からいただいた万雷の拍手には、何にも代えがたい喜びと安堵を感じました。

というのも、従来は演奏会開催に約1年半をかけていたところ、今回はコロナ禍の再々延期となつてしまい、2019年1



月初合奏から本番までの37ヶ月のうち、16ヶ月は練習できなかったという異常事態に陥っていたのです。

『豪華客船内で感染症が蔓延している』というニュースを聞いたのは2020年2月。次第に不穏な世相に変貌するものの、どうすれば良いやら見当もつかず・・・オリンピックの日程に合わせて、2020年4月開催を同年8月に延期。次にオリンピック延期を追いかけて翌年9月に再延期。緊急事態宣言下で開催されたオリンピックに閉口しながらも、2022年1月の『この日なら客演指揮者の予定も会場もまだ空いている』というピンポイントのある日を見つけて、祈るように再々延期を決定。一時下降傾向にあった感染状況が次第に上昇傾向を見せはじめたものの、なんとか開催できた次第です。あと1週間遅かったら、出演辞退者が出たかもしれないタイミングでした。

やっとの想いで乗り越えた演奏会でしたが、「エニグマっていい曲やなあ」と心から感じました。交響曲は第1楽章が張り詰めた空気で終わり、第2楽章

のオーボエのソロは本当に素晴らしいく庄巻！第3楽章のピッチカートが綺麗に響いたあとの終楽章。全員がその緊張感を楽しみながらクライマックスへ向かった、あの一体感は今でも忘れられません。

■横井隆幸（大33）

彦根の思い出

名古屋支部役員の紹介を兼ねて、学生時代の思い出を語っていただきました。

荒木俊雄（大29・バドミントン部）

下宿先は大学裏門から近くの北野神社南西の城町二丁目。大家さんの離れに住みトイレは昔ながらの和式でオツリが来ないポジション取りに苦労しました。銭湯は最寄りの天神湯。朝食は彦べー（彦根べーカレー）、昼食は生協食堂、夕食はまる正・開花亭・いづみや等、また下宿から近いよう・みどり食堂もよく利用しました。夜に一杯飲むのは袋町で頻繁に友加里へ行きました。自分の土台を造ってくれた彦根の四十余年前の思い出深い生活です。

今井綾乃（大58・院41・邦楽部・F.C.F.R.K.）

生協のカフェ「ラグーナ」。

そこは私と仲間との思い出の場所。春雨の中で行った新歓の息止め。テスト前に焦って行った情報交換会。ほかの部と開催したクリスマスコンサート。授業を抜け出しての悩み相談。失態を犯した文サ連の反省会。就活の憩い。緊張の面持ちで卒業単位の確認し合い。卒業旅行先を決めた、あみだくじ大会。留学生や社会人学生との語り・・・等々。「ラグーナ」に行けば、いつもみんながいた。

内田 誠（大31・ヨット部）

自分の大学生活の中心はヨット部であった。ここでは、バイトについて話します。クラブバイトも含めて約20種のバイトを経験した。長浜曳山バイト、高島屋のお歳暮発送バイト、土方、新聞社の選挙前世論調査、工場の深夜作業、バナナ売り、等。どれも印象的であったが、中でも本屋の博文堂さん、音瀬酒店さんには、大変お世話になった。今でも、ガルボさん（袋町）、イザラ（本町）さんで彦根の家族に会える。

榎本尚哉（大25・ヨット部）

12年前仕事の関係で34年ぶりに彦根に住むことになり、どうなってるかな？と昔の市場街を歩いていたら学生時代大好きだったホルモン屋「大関」の看板を見つけました。当時お金がないのに1500円握りしめてよくいったお店です。タイムワープした気分です。店に入ると、お店のおばちゃんは今時たまに手伝いに来ていた娘さんが連れていた4、5歳のお嬢ちゃんも現在でした。親子3世代！何とも言えない感動を覚えました。

落合睦司（大30・ソフトテニス部）

松原に下宿し、彦根の街を端から端までミニサイクルで駆け回っていた学生時代。朝は駅前の帆船、昼は学食、夜はまる正と記憶しています。ある夜、自転車帰りの途中、突然、自転車の警官二人に追い駆けられ「何してんだ」と。友達と飲んでいましたと答えると、「無灯火は危険だ！飲む金があったら直しなさい」と一言いつて去って行きました。学生に寛大な彦根の街だったんですね。

片岡嘉幸（大25・硬式野球部）

愛国駅から幸福駅までの切符が四年間で一千万枚売れるという北海道プームの中、五人で青函連絡船に乗った。石川さゆりの「津軽海峡冬景色」が大ヒットする前年の事である。函館でレンタカーを借り小樽を目指したが、途中の余市でウィスキーを試飲したいため、誰が運転するかで揉めた気がする。礼文島への船で船酔いし「八時間トレッキング」の踏破を断念したのは無念であり、会社をリタイアした今、コロナ収束後に行く心算である。

岸 泰志（大30・ボート部）

やはり自分にとって一番の思い出は1年間の寮生活を経て3年間過ごした「下宿」だろうか。下宿、もうその言葉は最近の学生には死語かもしれない。自分には当時、大学に程近い栄町の通称「矢野マンション」に住んでいた。その当時の多くの学生が個人の家の部屋を間借りしていたが、「矢野マン」は完全個室、それがマンションといわれた所以か。但し4畳半しかなく、共同便所、風呂なし、押入れに足を突っ込んで寝ていたことを思い出す。あー懐かしいー。

塚本浩三（大30・ソフトテニス部）

学生時代のバイトは袋町のしる万。食事付で融通も効く、ご飯はお代わりし放題と良いところでした。ただ冬場で「味噌汁に大根二切れ」という恐ろしくあつさりしたおかずの時がありました。食べ盛りの若者には余りに味気ない料理で。味噌汁で一杯、二杯目は漬物をおかずにと思わず無然として食べました。「忙しかったから」とうどんを心待ちにしていたものです。この時のおかげで粗食に慣れました（笑）。

土屋敦史（大57・バドミントンサークル）

大学に入るまでお酒を飲んだことがなかった私。新歓コンパで先輩に勧められてグラスに半分だけ入ったサワー。気付いたら新歓コンパは終わり、駐車場が気分よく寝ころんで空をみていた私。あれほど気分よく駐車場に寝ころんで夜空を見たのはあれ以来ないと今でも思います。

土屋貴巨（大54・基礎スキー同好会）

とにかく小田切ゼミ。4回生になると彦根に行くのだからと毎回ゼミOBに会い、先生とはゼミ

の時間よりゼミ外の時間のほうが長く一緒にいて、楽しみは年一度のゼミOB会。インタゼミナール大会で山口に行き、発表がうまくいかず、先生の存在の大きさを改めて痛感したことを鮮明に覚えている。バーベキューしたり工場見学に行ったりキャンプしたり。他にも学生生活いろいろあったはずだが、記憶の大半が小田切ゼミという…。

挽内健児（大50・ハンドボール部）

今冬、記録的な積雪の彦根ですが、私が1回生の時にも大雪がありました。記憶では約57cm超で静岡出身の私には初体験の積雪量！そんな日でも構わずに後期試験が行われた事に驚愕でした。また当時の彼女が手袋を外した際に指輪（私のブレンゼン）を落としたと凶報。彼女の涙に負けて一緒に探し回るも見付かる訳はなく、買い直ししてあげる事に。手袋と指輪は相性が悪いなあとと今でも教訓です（ゴルフ時も指輪外します）。

肥田茂之（大54・文学部）

大学4年間を過ごした堀口荘。6畳1間、何でも共同のアパートは、滋賀大、県大の学生ばかり。

みんな仲良しで毎週酒盛り、銭湯もよく一緒に行った。そんな堀口荘の玄関には1枚の新聞が貼ってあった。隣部屋のD君が自転車日本一周旅行をして、でかでかと紙面に載ったのだ。写真がラストランの時に撮ったもの。D君の他に、迎えに行った下の階のH君と私。でも、説明文はこうだった。『旅ではたくさんのお会いがあった…。』

表野宏和（大29・院9・合気道部）

ビール？あんな苦いものどこが旨いんだ？この考えを一掃させたのは、そう、2回生のある暑い夏の日、手渡されたよく冷えたビールをグツとあおり、そのコクと味わいに思わず仰天！？そうなんです、そこからビール、否、酒に飲まれるようになったのです。後輩にあおられ、彦根城下で大声で歌いこんだり、ビアホールで電柱に駆け上がり、怖い人に注意されたり、車に乗り込み窓全開にて応援演説をしたりと、若かったですね！？でも、とてもとても想い出深い何物にも代えがたい6年間でした！！

堀 洋一（大31・ソフトテニス部）

「やけに外が明るいな。今日は天気が良いんだ！」1回生の時の下宿は東向きに窓のある日当たりのよい部屋でした。1月のとある朝、目覚めてカーテンを開けると外は一面の雪景色でした。それまで10cm超の積雪を経験したことがなかった私は「雪が明るい」と驚いたものです。自転車の車輪半分が埋まるほどの中、足が着かないようなバイトに向かったことが懐かしく思い出されます。

山内佳紀（大23・グリークラブ）

入試の合格発表後、さっそく高校の先輩が、軟式テニス部の勧誘に我が家まで来られました。高校時代、一時軟式テニス部に在籍していたことがありましたが、4回生の先輩でもあり、高校時代には面識がありませんでした。その後、先輩から大学で高校の同窓生の会があるとお聞きし、新入会員として参加しました。懇親会の場所は銀座にある高級感の漂う「輪こん」という洋食のレストランで、慣れないナイフとフォークを使い、おいしい肉料理を堪能した記憶があります。

横井隆幸（大33・オーケストラ）

印象深いバイトのひとつは『新幹線バイト』。降雪対策として「線路上へスプリンクラーで散水する」実験プロジェクトでした。散水量を測定する会社にて徹夜バイトとして雇われ、向かった先は関ヶ原、昭和58年と59年の冬です。休憩時間に仮設小屋で暖を取ることに、帰りに「かんぽの宿」大浴場に入ることが楽しみでした。滋賀県北部に降る雪のニュースを見るたび、当時の実験が今でもお役に立っているのか？と思います。

米澤正治（大25・院5・ギリックラブ）

よく通ったのは“とり源”。コンパでも騒いだが、一人でも吞ませてもらった。ゼミ（松尾ゼミ）のコンパでは、ろくに理解していない本を題材に議論したが、酔いとともに解らぬ者同士で納得した。グリーでは、間を空けずに順に歌い続けたりしたが、三波春夫を歌うと、“とり源”の大将は上機嫌だった。対面で吞む大将からは、彦根弁で何かと説教を受けた。45年経た今もこの説教は続いている。

編集・名古屋支部広報部会

陵水会名古屋支部 支部役員

役職名	氏 名	卒業年次
顧問	吉 田 宜 正	大 8回
支部長	片 岡 嘉 幸	大25回
副支部長	米 澤 正 治（学生*）	大25回・院 5回
副支部長	荒 木 俊 雄（組織）	大29回
幹 事 長	塚 本 浩 三（学生）	大30回
副幹事長	小田切 純 子（組織・若手）	大23回
副幹事長	榎 本 尚 哉（総会*）	大25回
副幹事長	落 合 睦 司（組織*）	大30回
副幹事長	岸 泰 志（広報*）	大30回
副幹事長	内 田 誠（総会）	大31回
副幹事長	堀 洋 一（総会）	大31回
副幹事長	目 時 義 通（広報・学生）	大32回
副幹事長	横 井 隆 幸（広報・学生）	大33回
副幹事長	中 川 雄 志（広報）	大50回
副幹事長	挽 内 健 児（組織）	大50回
副幹事長	土 屋 貴 巨（学生・若手*）	大54回・院46回
副幹事長	肥 田 茂 之（学生）	大54回
副幹事長	土 屋 敦 史（学生・若手）	大57回
副幹事長	今 井 綾 乃（広報）	大58回・院41回
会計幹事	表 野 宏 和	大29回・院 9回
監 事	山 内 佳 紀	大23回

ご逝去による退任

顧問	村 瀬 英 巳	大15回
----	---------	------

陵水会名古屋支部 本部役員

役職名	氏 名	卒業年次
副理事長	片 岡 嘉 幸	大25回
理 事	小 林 耕 士	大20回
理 事	荒 木 俊 雄	大29回
理 事	塚 本 浩 三	大30回
代 議 員	長谷川 信 三	短 7回
代 議 員	倉 坪 和 久	大13回
代 議 員	奥 谷 弘 和	大14回
代 議 員	吉 田 稔	大15回
代 議 員	山 内 薫	大21回
代 議 員	山 内 佳 紀	大23回
代 議 員	榎 本 尚 哉	大25回
代 議 員	米 澤 正 治	大25回・院 5回
代 議 員	表 野 宏	大29回・院 9回
代 議 員	内 田 誠	大31回
代 議 員	堀 洋 一	大31回

〈支部役員参考〉*印は部長

組織：組織部会

総会：総会部会

学生：学生部会

若手：若手部会

広報：広報部会

陵水会名古屋支部 卒業年次別 幹事名簿

卒業年次	氏 名
高商21	杉 浦 弘
大学 2	鹿 野 磯 夫
4	近 藤 勇 雄
5	清 水 有
6	伊 與 正 道
7	坂 清 司
8	脇 田 佳 男
9	大 西 敏 隆
10	大 野 眞 一
短大 7	長谷川 信 三
大学11	内 藤 嘉 美
12	水 野 浩
13	倉 坪 和 久
15	吉 田 稔
16	蜂須賀 聰 太*
17	築 瀬 悠 紀 夫
18	山 下 松 志
19	山 口 郁 夫
20	板 谷 憲 治
20	鹿 住 誠
21	山 内 薫

卒業年次	氏 名
大学22	今井田 昭 三
23	小田切 純 子
23	山 内 佳 紀
24	近 藤 一 菜
25	榎 本 尚 哉
25	片 岡 嘉 幸
25	米 澤 正 治
26	三 宅 郁 夫
27	伊 藤 博 樹
28	牧 野 博 和
29	荒 木 俊 雄
29	表 野 宏 和
30	落 合 睦 司
30	岸 泰 志
30	塚 本 浩 三
31	内 田 誠
31	堀 洋 一
32	河 辺 昭 宏
32	船 坂 宏 樹
32	目 時 義 通
33	鈴 木 俊 彦

卒業年次	氏 名
大学33	菱 田 裕 之
33	横 井 隆 幸
34	田 中 直 樹
34	千喜良 博
34	丹 羽 宏 和
35	三 村 祥 章
35	三 輪 孝 秀
35	山 崎 博 己
36	樋 口 偉 久
36	吉 橋 満
37	伊 藤 智 弘
37	日比野 厚
38	伊 藤 裕 人
38	小田島 永
39	浅 井 俊 博
40	稲 垣 明 知
40	坂 野 晃
41	山 田 剛
42	長 瀬 昌 彦
43	小 林 靖
45	水 野 俊 之

卒業年次	氏 名
大学46	齊 藤 正 和
49	中 澤 良 次
50	中 川 雄 志
50	挽 内 健 児
53	稲 山 大 介
54	土 屋 貴 巨
54	肥 田 茂 之
57	土 屋 敦 史
58	今 井 綾 乃
58	田 中 憲 一
62	小 野 翔
62	棚 橋 紗 夕
64	磯 野 詩 織
64	金 井 信 道
65	田 中 圭 史
65	堀 井 弘 明
66	久 岡 賢 治*
66	三 品 花 菜

<参考>新任者*

陵水俳壇

自句自解

石橋政雄(大6)

鏡餅木遣り中を進みけり

数年前に、同期の友と国府宮の裸祭を見に行った時の景である。棧敷から見下ろしているとき、最初に奉納される大鏡餅を通り、引く人々の木遣り歌が印象的であった。

伊興正道(大6)

少志もて迎ふ米寿の初山河

今年八十八才の米寿を迎ふ。激動の昭和から今日までよく生きたと思ふ。彦根時代の親しい友も大半は鬼籍に入り、残った人も病みがちである。好々爺が老人の理想の様に云う人もあるが、私は大嫌い。老と云えども、己の意志を持ち堂々と生きたい。現在の社会、政治、TV等に毎日怒って居る。今に至って大志等持ち様がないが、小ながら志を持つて生きたい。等と年に入れたが、もう二月を過ぎ三月に入った。小志燃やし続け得るや否や、これからである。

倉坪和久(大13)

訃報また寒中見舞いの姿して

八十才近く急に訃報が増えてきた。年末の喪中ががきはご家族の訃報が多く、賀状を控えられいいのだが、寒中見舞いは知人本人の訃報がほとんどで、年頃からかなりコタえる。「諸行無常の」の人世ながら・・・

青山政弘(大17)

オミクロン雪に先立つ伊吹越

毎年日本海から彦根を通り伊吹山を越えて伊吹風が雪を伴って吹き降ろしてきます。今年はこちらに先立ってオミクロンが中国・韓国から日本海を渡って北陸に上陸し、伊吹山を越えて濃尾平野に吹き降ろしてきました。コロナと大雪のダブルパンチで籠り居る長期間強いられています。春が来てコロナも収ま

り、自由に旅行できるようになると願っています。

片岡嘉幸(大25)

応援はスマホの中の運動会

コロナ禍の続く中、北海道住む孫にもう二年間近くも会えていない。スマホに送られてくる孫の頑張る姿を応援するだけの寂しいじいちゃんである。

第84回名古屋水会ゴルフコンペ

【開催日】令和3年11月23日(火祝) 【会場】額田ゴルフ倶楽部

2021年11月23日(火祝)に、第84回名古屋水会ゴルフコンペが開催されました。快晴であるものの時折強風が吹く天候の中、会場の額田ゴルフ倶楽部には14名が参加しました。

結果は以下の通りです。

優勝 清水一治(大9) グロス 86 HD 12.0 ネット 74.0

2位 伊藤康男(大25) グロス 86 HD 12.0 ネット 74.0

3位 井上真吾(大58) グロス 81 HD 0.6 ネット 75.0

4位 堀 洋一(大31) グロス 110 HD 34.8 ネット 75.2

5位 塩瀬和美(大22) グロス 93 HD 16.8 ネット 76.2

【7位】山下松志(大18) 【10位】佐野 穰(大9)

【BB賞】杉原隆義(大24)

【ドラゴン】大島一彦(短7)、片岡嘉幸(大25)

【ニアピン】佐野 穰(大9)、酒井盛雄(大13)

稲垣信也(大23)、片岡嘉幸(大25)

【大波賞】野々山徳雄(大25) 【小波賞】井上真吾(大58)

井上真吾(大58)さんの大会3連覇はなりませんでした。

※感染症対策を実施して開催しています。

次回開催

第85回名古屋水会ゴルフコンペ

【開催日】令和4年4月6日(水) 【会場】東名古屋CC

(結果は名古屋水会ホームページをご覧ください)

次々回開催ご案内

第86回名古屋水会ゴルフコンペ

【開催日】令和4年11月23日(祝) 【会場】未定

片岡嘉幸(大25)

予 告

2022年度 名古屋支部総会

【日時】2022年6月25日(土)

【会場】HOTEL ルブラ王山

2023年度 名古屋支部総会

【日時】2023年6月24日(土)

【会場】HOTEL ルブラ王山(以上予定)

〔原稿募集及びご意見を！〕
皆様の原稿をお待ちしています。
※テーマ自由
「昔の支部会報」を探しています。
※お持ちの方はご一報願います。
〔広告を募集しています〕
※ご希望の方はご一報願います。
連絡先：岸 泰志(大30)
☎ 090-3459-0523
Email tkishi@gc.comufajp
編集担当：広報部会
岸・横井・今井

全ての記事の全文は、
名古屋支部ホームページで
ご覧いただけます。

